

オール

ひた、ひた、と
ボートを漕ぐ

ああ、ひとりであることの
同時にひとりではないことの
何という心地よさ

ひた、ひた、と
オールがゆったりとうたう

水面を嬉々として跳ね回る陽光が
私を深呼吸させる
あの森の奥へと導く

ひた、ひた、と
船ペリを拍くたた小さな波、小さな波、小さな波

背中を暖める陽射しが
私の漕ぐ速さを緩める
ようそろ　　、ようそろ・・・

ひた、ひた、と
まるで永久のごとく漕いでゆくとこしえ

ああ、ひとりであることの
そしてひとりではないことの
何という遙けさ

ひた、ひた、と
ボートを漕ぐ
ああ、彼方の雲が白くすきとおる

(2005.2.18)